公益財団法人 長岡京市埋蔵文化財センター

調査成果報告会

令和４年度調査

令和４年度に実施した発掘調査を振り返る調査成果報告会。今回の報告会では、長岡京跡や古代乙訓寺の遺構、各時代の様々な出土遺物など、多くの成果があった調査から紹介します。

令和５年９月16日

公益財団法人 長岡京市埋蔵文化財センター

令和４年度
発掘調査事業の主な成果

付表－１　令和４年度発掘調査地一覧表

番号	調査次数	重複遺跡	住　　所	調査期間	面積
1	**長岡京跡 右京第 1259 次**	**下海印寺遺跡**	**長岡京市下海印寺北条 40−1 他**	**2022 年３月１日 ～５月９日**	**426㎡**
2	右京第 1261 次	神足遺跡、近世勝龍寺城跡	長岡京市東神足二丁目 17−1	2022 年５月 11 日 ～６月３日	40㎡
3	**右京第 1262 次**	**開田遺跡**	**長岡京市開田三丁目他地内**	**2022 年６月１日 ～９月 28 日**	**517㎡**
4	**右京第 1263 次**	**今里遺跡**	**長岡京市今里更ノ町 18 番**	**2022 年６月13日 ～７月 11 日**	**192㎡**
5	**右京第 1264 次**	**開田遺跡**	**長岡京市開田一丁目 108 の一部**	**2022 年７月４日 ～８月 15 日**	**126㎡**
6	右京第 1266 次	今里遺跡、乙訓寺	長岡京市今里四丁目地内	2022 年７月 27 日 ～８月 25 日	264㎡
7	右京第 1267 次	今里遺跡	長岡京市今里二丁目 41−4 他	2022 年９月 15 日 ～11 月２日	378㎡
8	右京第 1268 次	神足遺跡、開田古墳群、近世勝龍寺城跡	長岡京市一里塚２番 11 号	2022 年９月 20 日 ～10 月 21 日	206㎡
9	**右京第 1271 次**	**神足遺跡**	**長岡京市馬場一丁目 31 番地の一部**	**2022 年 11 月 14 日 ～12 月 20 日**	**171㎡**
10	**右京第 1272 次**	**神足遺跡、中世勝龍寺城跡**	**長岡京市東神足二丁目 113 他**	**2022 年 12 月５日 ～１月６日**	**250㎡**
11	右京第 1275 次	開田遺跡	長岡京市神足三丁目 437 番地２	2023 年３月１日 ～３月 20 日	107㎡
12	**左京第 670 次**	**雲宮遺跡**	**長岡京市神足拾弐２番３他**	**2022 年 11 月 14 日 ～2023 年２月 25 日**	**1,018㎡**
13	奥海印寺遺跡 第 31 次	長岡京跡関連遺跡、谷田遺跡	長岡京市奥海印寺太鼓山５他	2022 年５月１０日 ～５月 27 日	170㎡
14	奥海印寺遺跡 第 32 次		長岡京市奥海印寺台田、普毛、八戸木地内	2022 年 10 月３日 ～11 月２日	328㎡
15	奥海印寺遺跡 第 33 次		長岡京市奥海印寺野辺田 26、東条１他	2022 年 10 月３日 ～10 月 20 日	97㎡
16	奥海印寺遺跡 第 34 次		長岡京市奥海印寺多貝垣外 17−1	2023 年１月 10 日 ～１月 23 日	201㎡
国１	**右京第 1265 次**	**今里遺跡、乙訓寺**	**長岡京市今里四丁目地内**	**2022 年７月 21 日 ～８月 25 日**	**154㎡**
国２	**右京第 1270 次**	**今里遺跡、乙訓寺**	**長岡京市今里三丁目地内**	**2022 年 11 月１日 ～11 月 26 日**	**33㎡**
国３	右京第 1274 次	恵解山古墳、南栗ヶ塚遺跡	長岡京市勝竜寺 30	2023 年１月 23 日 ～２月３日	3㎡

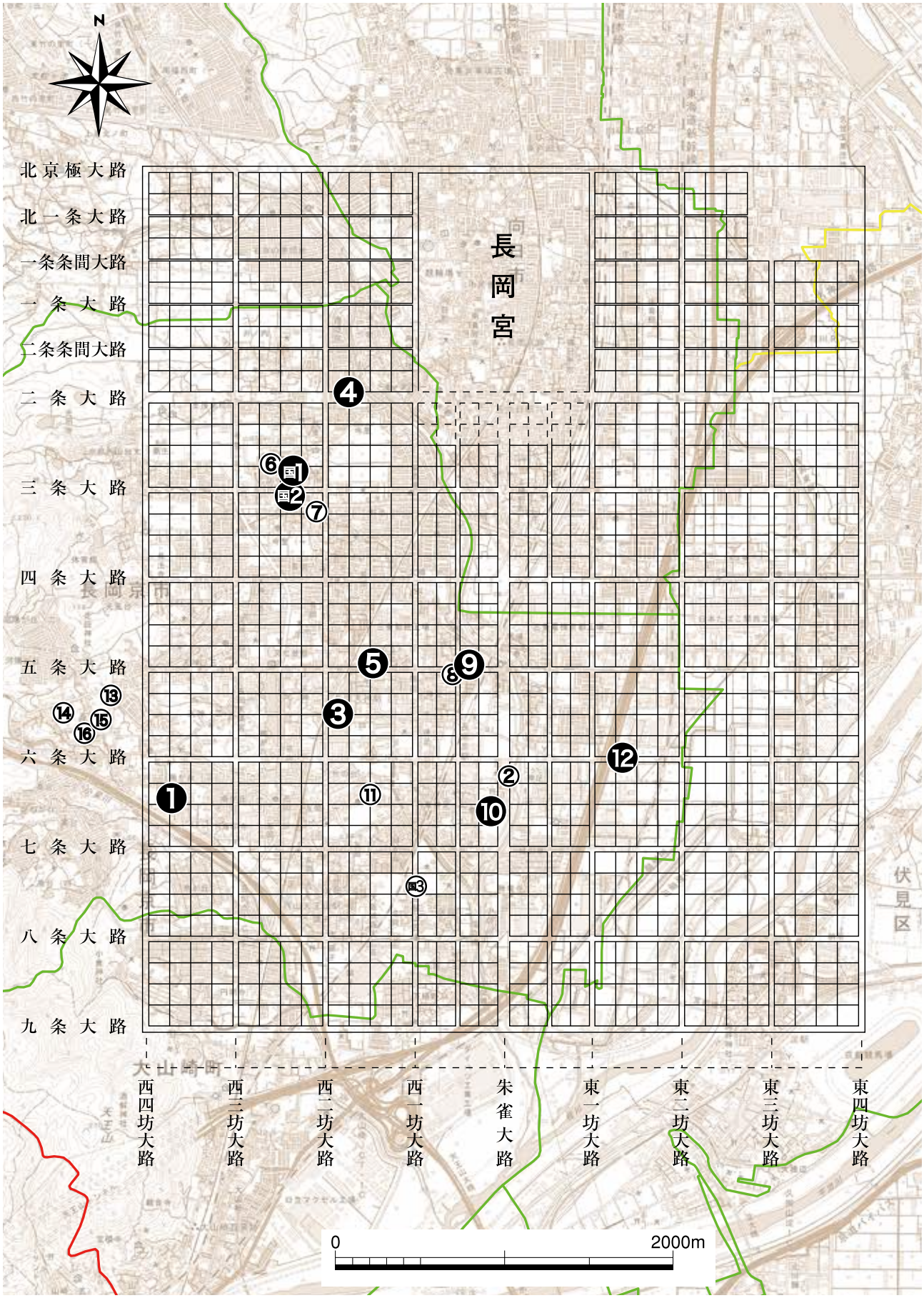
番号の１～16 は監査資料の別表２－１「令和４年度（一般）発掘調査一覧表」に、国１～３は別表２－２「令和４年度（国庫補助事業）発掘調査一覧表」と対応する

＊ **太字・網掛け**で示した調査は成果の概要を掲載した

調査でわかった主な時代

旧石器　縄文　弥生　古墳　飛鳥奈良　長岡京期　平安　中世　近世

※ 掲載調査資料の右上・左上に示したマークは、調査で特に成果があった時代



・図中の番号は、付表－１「発掘調査地一覧表」に対応する

・白抜き番号の発掘調査は、次項以降に成果の概要を掲載した

▲ 令和４年度発掘調査地位置図

❶　長岡京跡右京第 1259 次調査

調査期間　2022（令和４）年３月１日～５月９日

調 査 地　長岡京市下海印寺北条 40−1 他

調査遺跡　長岡京跡右京七条四坊十町、下海印寺遺跡

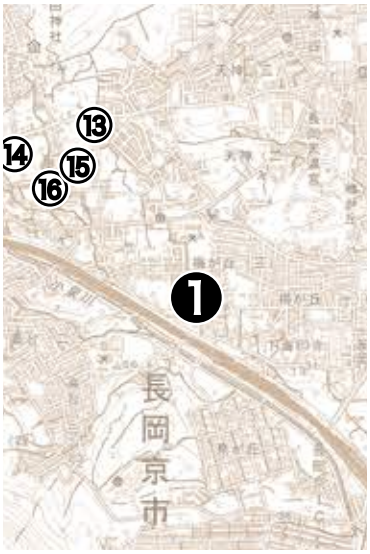
調査面積　426㎡

担 当 者　大髙　義寛

周辺地形　低位段丘Ⅰ　　**地表面標高**　40.0 m

調査成果（古墳・平安・中世）

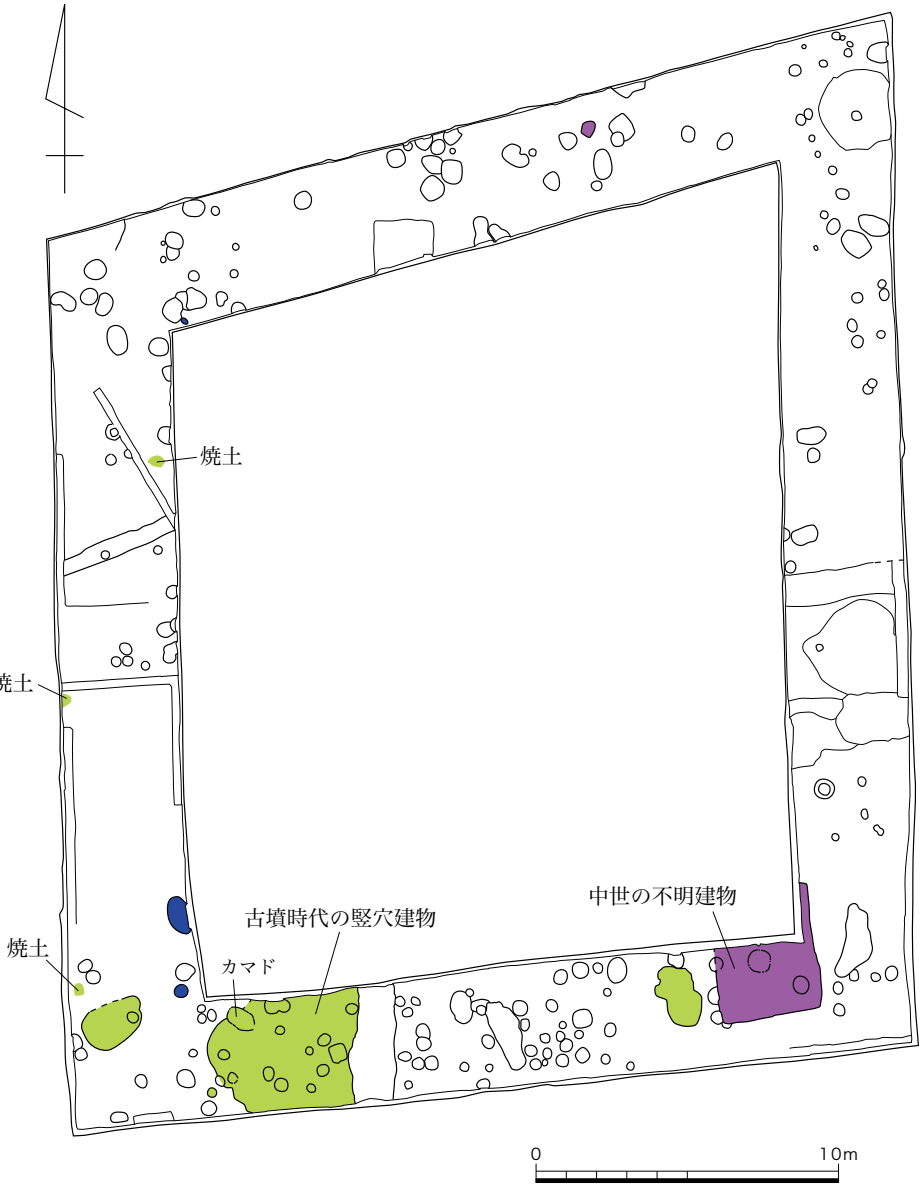
古墳時代の竪穴建物・土坑、平安時代の土坑・小穴、中世の不明建物、時期不明の小穴群などを検出しました。古墳時代の竪穴建物からはカマドや土器が、中世の不明建物では炉が見つかっており、周辺に古墳時代や中世の集落が広がっている可能性が示されました。



▲ 調査地位置図

調査区全景（南西から）

古墳時代の竪穴建物カマド
遺物出土状況（南東から）



▲ 調査成果図・写真

❸　長岡京跡右京第 1262 次調査

調査期間　2022（令和 4）年 6 月 1 日～ 9 月 28 日

調 査 地　長岡京市開田三丁目他地内

調査遺跡　長岡京跡右京六条二坊十四町、開田遺跡

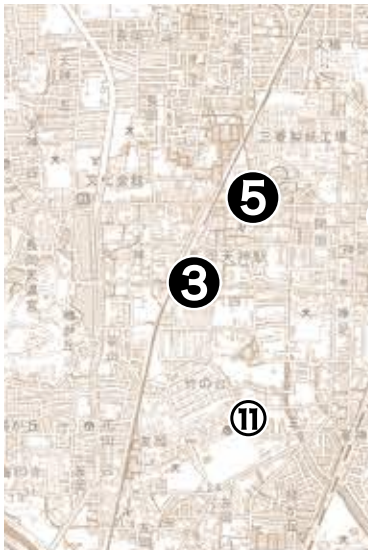
調査面積　517㎡

担 当 者　大髙　義寛

周辺地形　緩扇状地　　**地表面標高**　21.5 m

調査成果（奈良・長岡京期・平安）

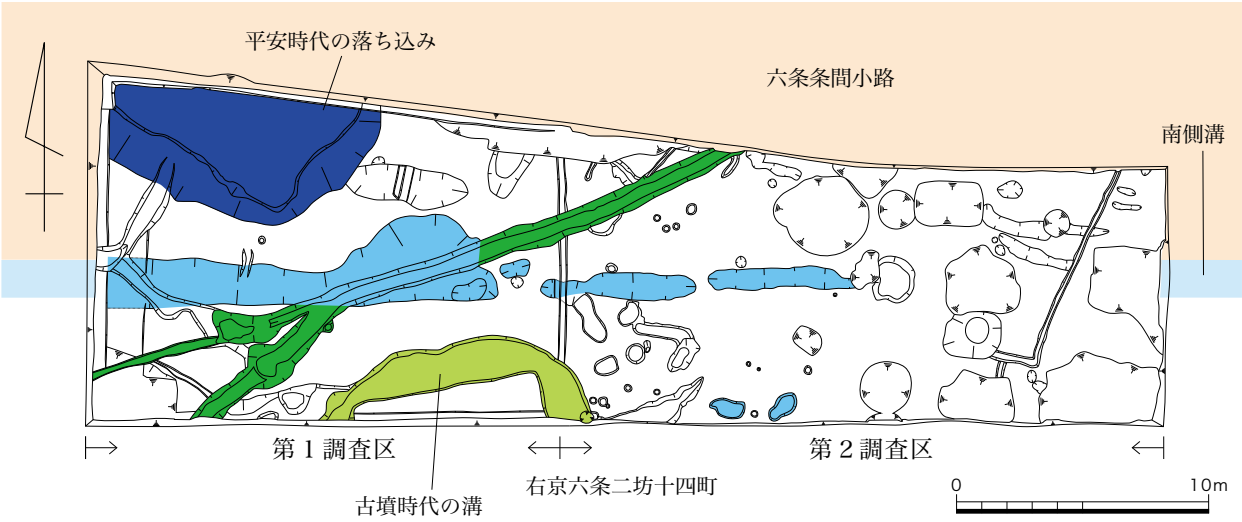
古墳時代の溝、奈良時代の溝、長岡京期の六条条間小路南側溝・不明遺構、平安時代の落ち込み、中世の耕作溝などを検出しました。そのなかで、奈良時代の溝からは乙訓寺出土の瓦に類似する軒丸瓦が出土しました。また、長岡京期の六条条間小路南側溝の傾斜や平安時代の落ち込みなどから、各時期の旧地形の一端が明らかとなりました。



▲ 調査地位置図

第 1 調査区全景（東から）

奈良時代の溝　遺物出土状況（南西から）



▲ 調査成果図・写真

❹　長岡京跡右京第 1263 次調査

調査期間　2022（令和 4）年 6 月 13 日～ 7 月 11 日

調 査 地　長岡京市今里更ノ町 18 番

調査遺跡　長岡京跡右京三条二坊九町、今里遺跡

調査面積　192㎡

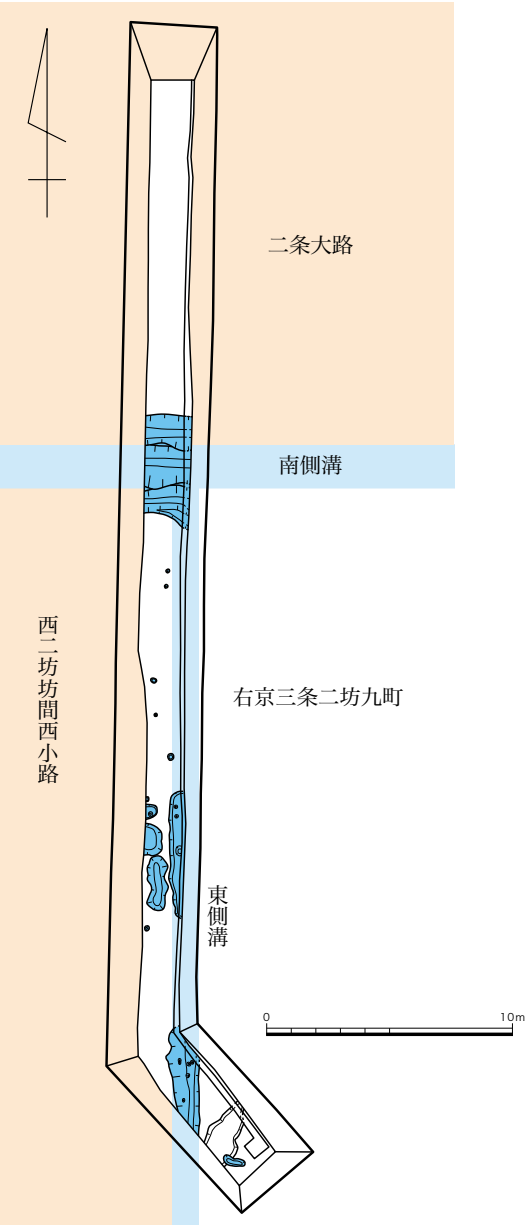
担 当 者　山下　研

周辺地形　氾濫原Ⅰ　　**地表面標高**　29.4 m

調査成果（長岡京期・中世・近世）

長岡京期の二条大路南側溝と西二坊坊間西小路東側溝・小穴などと、中世以降の遺物包含層を検出しました。二条大路南側溝は、過去に周辺で行われた調査と同様に 3 条の溝が重複しており、度重なる河川の氾濫によって埋没した側溝が掘り直されたことや、その都度路面が狭くなっていったことが明らかになりました。

▲ 調査地位置図



調査区全景（南から）

二条大路南側溝（南東から）

▲ 調査成果図・写真

❺　長岡京跡右京第 1264 次調査

調査期間　2022（令和 4）年 7 月 4 日～ 8 月 15 日

調 査 地　長岡京市開田一丁目 108 の一部

調査遺跡　長岡京跡右京五条二坊五町、開田遺跡

調査面積　126㎡

担 当 者　猿向　敏一

周辺地形　緩扇状地　　**地表面標高**　21.7 m

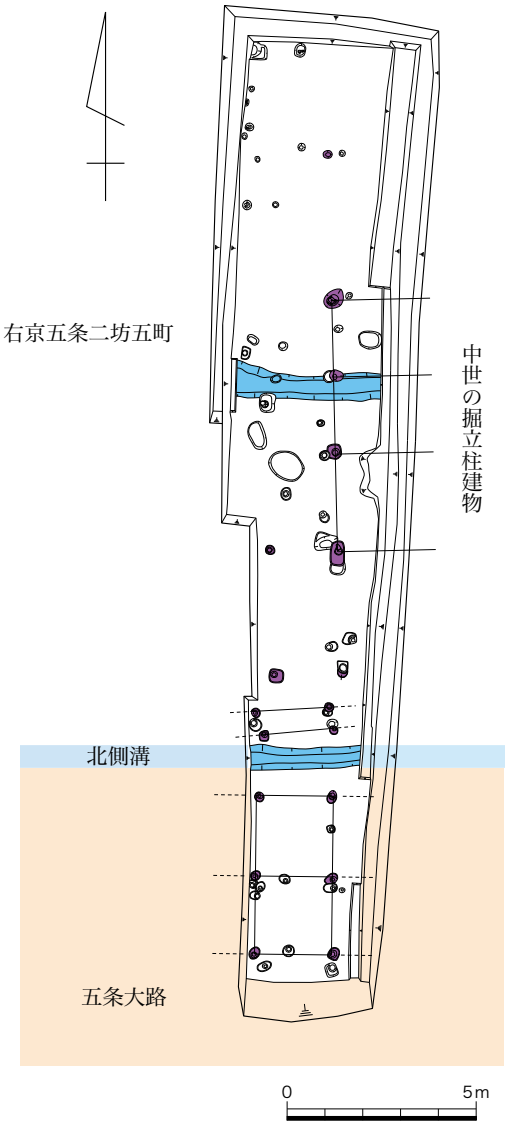
調査成果（長岡京期・中世）

長岡京期の五条大路北側溝、中世の掘立柱建物・小穴・溝などを検出しました。過去に周辺で行われた調査で同様の遺構が確認されていることから、長岡京廃都後の五条大路周辺地域における土地利用を考える上で重要な手掛かりとなります。

▲ 調査地位置図

調査区南端部（南から）

五条大路北側溝（北西から）



▲ 調査成果図・写真

❾ 長岡京跡右京第 1271 次調査

調査期間　2022（令和 4）年 11 月 14 日 ～ 12 月 20 日

調 査 地　長岡京市馬場一丁目 31 番の一部

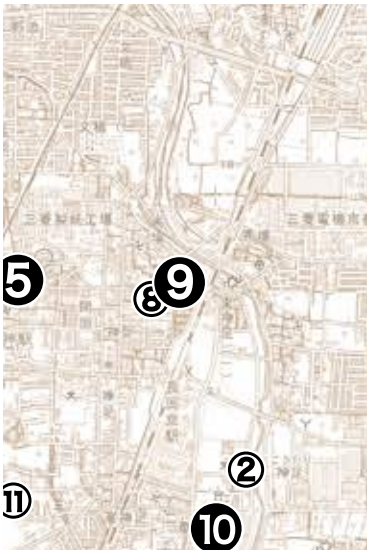
調査遺跡　長岡京跡右京六条一坊八町、神足遺跡

調査面積　171㎡　　**担 当 者**　猿向　敏一

周辺地形　低位段丘Ⅰ　　**地表面標高**　20.29 m

調査成果（長岡京期・平安・中世・近世）

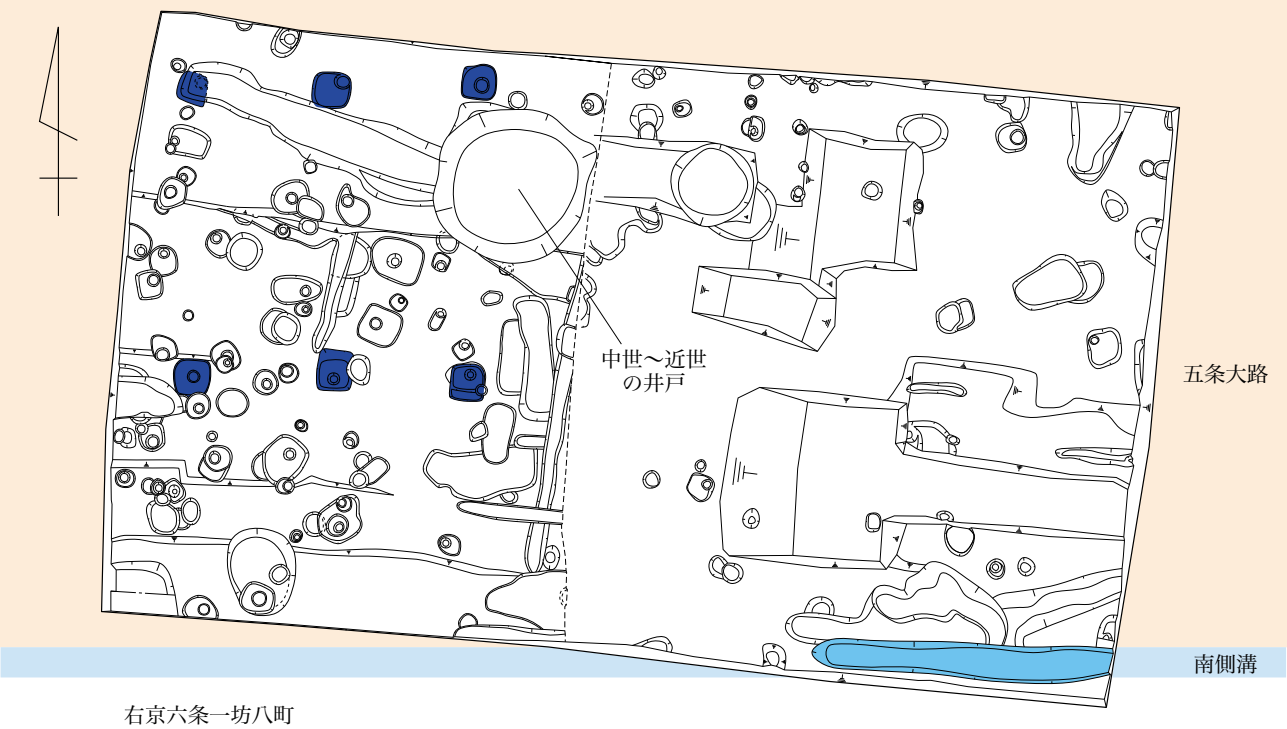
長岡京期の五条大路南側溝、平安時代の掘立柱建物、中世～近世の溝・井戸・土坑・小穴などを検出しました。井戸は中世につくられ近世に野井戸へ転用されたとみられるものですが、中世～近世の陶磁器の他、長岡京期のものと考えられる八花硯・宝珠硯などが出土しました。五条大路周辺の長岡京廃絶後から近世にかけての土地利用の変化が窺えます。



▲ 調査地位置図

調査区西半部全景（東から）

調査区東半部全景（南東から）



▲ 調査成果図・写真

⑩　長岡京跡右京第 1272 次調査

調査期間　2022（令和 4）年 12 月 5 日
～ 2023（令和 5）年 1 月 6 日

調 査 地　長岡京市東神足二丁目 113 他

調査遺跡　長岡京跡右京七条一坊三町、神足遺跡、中世勝龍寺城跡

調査面積　250㎡　　**担 当 者**　山下　研

周辺地形　後背低地　　**地表面標高**　12.7 m

調査成果（中世・近世）

中世～近世の土坑・溝を検出しました。調査区北端の溝は、規模が他より大きいものです。溝の内部から近世の陶磁器などが出土しましたが、溝が確認された位置から中世勝龍寺城の堀として掘削された可能性があります。中世勝龍寺城の外郭にあたる地区の調査は少なく、これまでは本丸以外の縄張りについても絵地図などに頼っていました。今回、中世勝龍寺城の外郭の堀推定地に近い場所から規模の大きな溝が検出されたことは、非常に興味深く思われます。

▲ 調査地位置図

調査区北端部の溝検出状況（南西から）

調査区全景（南東から）

▲ 調査成果図・写真

今年度のピカイチ発見！

⓬　長岡京跡左京第 670 次調査

調査期間　2022（令和 4）年 11 月 14 日
～ 2023（令和 5）年 2 月 25 日

調 査 地　長岡京市神足拾弐 2 番 3 他

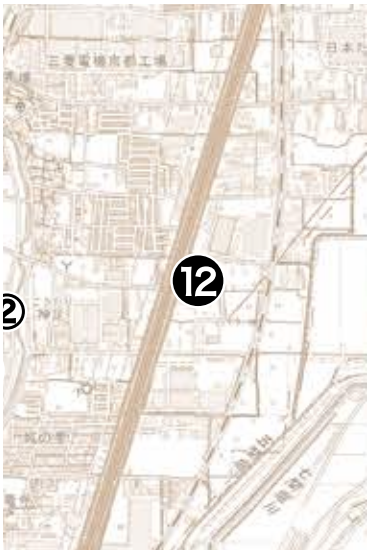
調査遺跡　左京六条二坊五町、右京七条二坊八町、六条大路、雲宮遺跡

調査面積　1,018㎡　　**担 当 者**　大髙　義寛

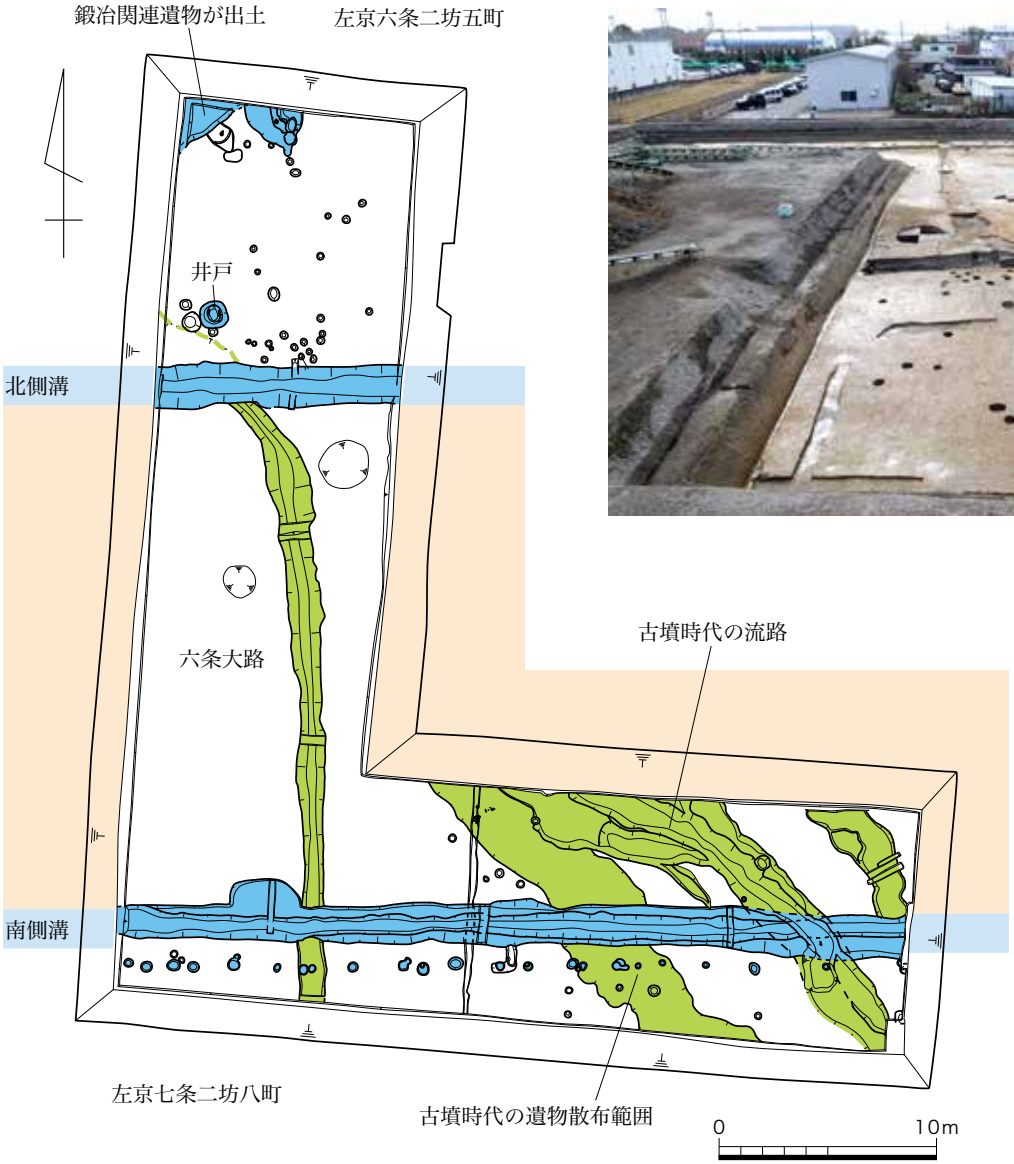
周辺地形　小畑川のつくった扇状地　**地表面標高**　12.1 m

調査成果（古墳・長岡京期）

長岡京期の六条大路南北両側溝・柵・井戸・落ち込み、古墳時代の溝などを検出しました。特に長岡京期では、左京六条二坊五町の宅地内から上段に円形曲物、中段に箱材、下段に楕円形曲物を組み合わせた類例の少ない井戸側が出土しました。また、同じ宅地内で鍛冶に関する遺物が出土しており、宅地の性格を考える上で重要な成果が得られました。



▲ 調査地位置図



調査区全景（北から）

長岡京期の井戸検出状況（南から）
上：中段の箱材
下：下段の楕円形曲物

▲ 調査成果図・写真

国庫補助❶　長岡京跡右京第 1265 次調査

調査期間　2022（令和 4）年 7 月 21 日～ 8 月 25 日

調 査 地　長岡京市今里四丁目地内

調査遺跡　長岡京跡右京三条三坊五町、今里遺跡、乙訓寺

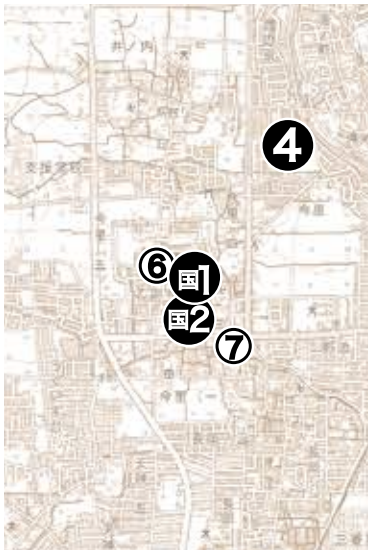
調査面積　154㎡

担 当 者　原　秀樹

周辺地形　低位段丘Ⅰ　　**地表面標高**　34.6 m

調査成果（長岡京期・中世・近世）

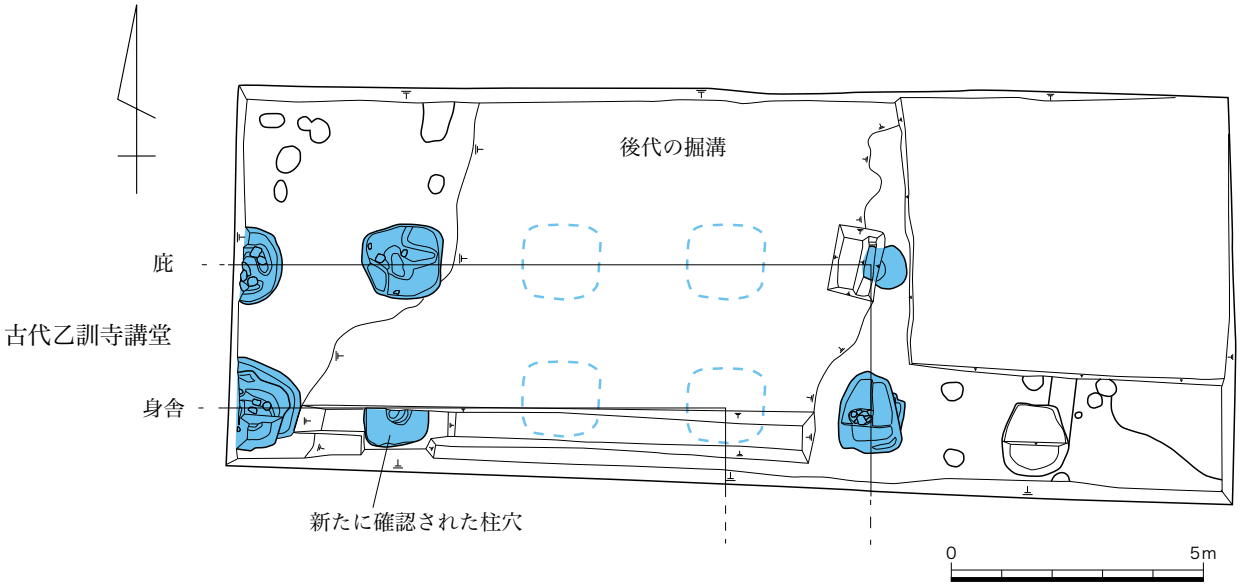
昭和 41 年の調査で発見された古代乙訓寺講堂の柱穴のうち 5 基を再確認し、後代の掘溝の下から新たに柱穴を検出しました。このうち南西の柱穴を断ち割りしたところ、上層の詰石下から掘立柱の柱痕跡が見つかりました。また、本調査地の西側で行われた右京第 1266 次調査では、後代の南北溝が検出されました。この溝は、中世頃の寺域を示す可能性が考えられます。



▲ 調査地位置図

古代乙訓寺講堂の柱穴（南から）

調査区全景（北東から）



▲ 調査成果図・写真

国庫補助❷　長岡京跡右京第 1270 次調査

調査期間　2022（令和 4）年 11 月 1 日～ 11 月 26 日

調 査 地　長岡京市今里三丁目地内

調査遺跡　長岡京跡右京四条三坊八町、今里遺跡、乙訓寺

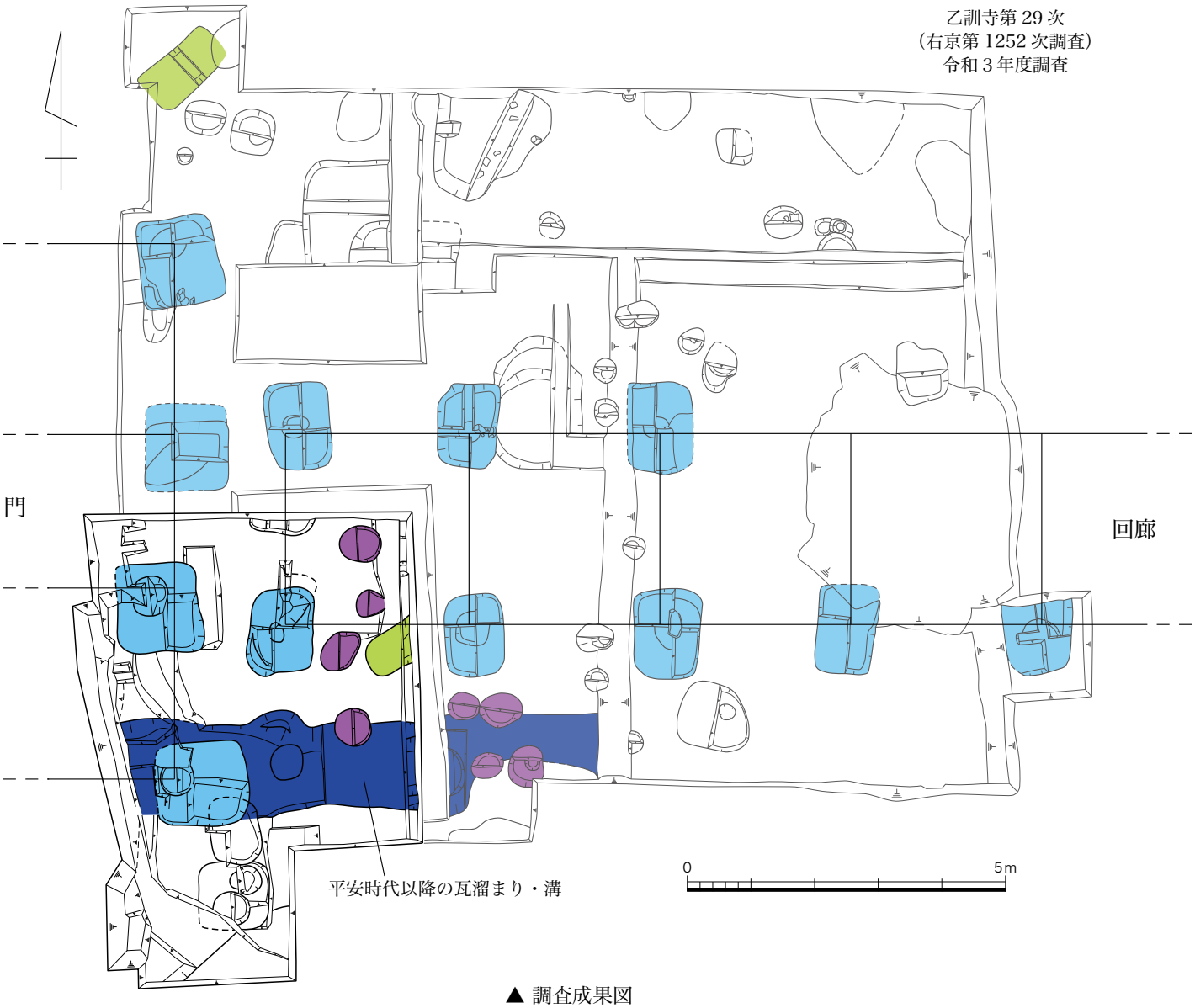
調査面積　33㎡　　**担 当 者**　福家　恭

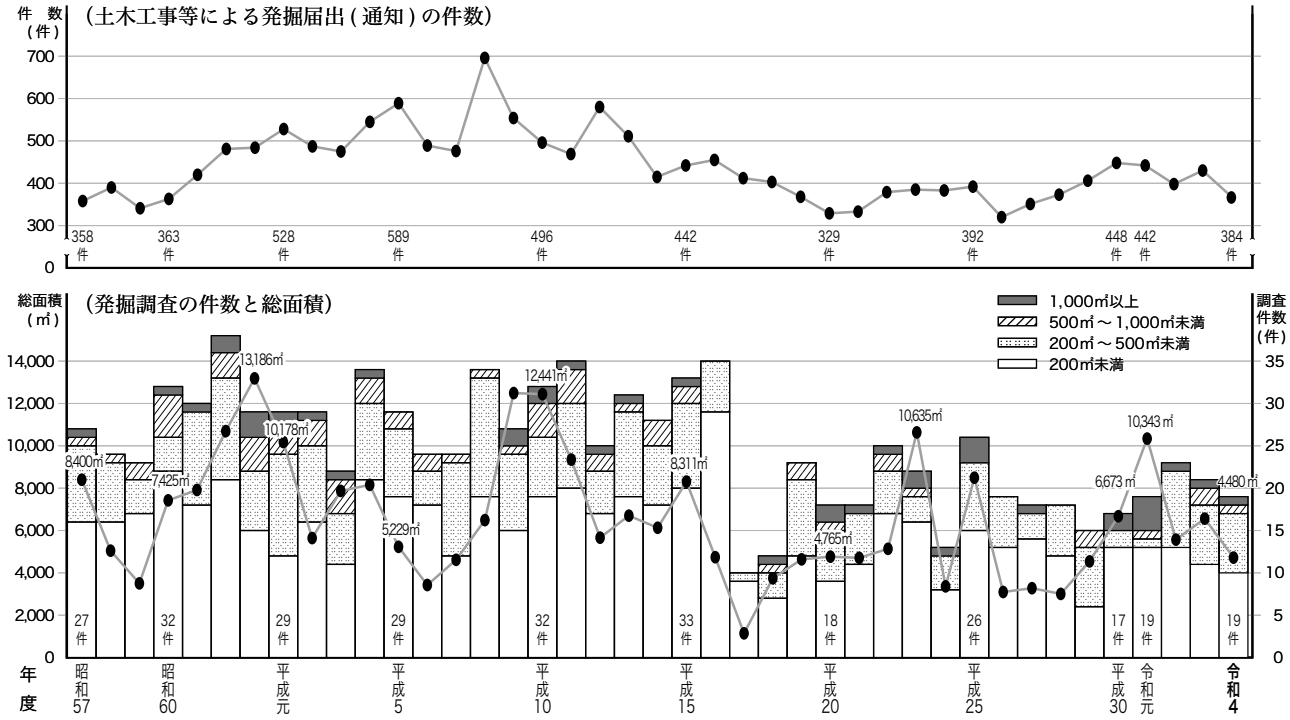
周辺地形　低位段丘Ⅰ　　**地表面標高**　33.5 m

調査成果（古墳・長岡京期・平安・中世）

長岡京期の柱穴を検出しました。令和 3 年度に実施した右京第 1252 次調査で検出した回廊の一部と、門と推定される遺構が三間の間隔で並ぶ柱列であることがわかりました。また、東西に方向に広がる平安時代以降の瓦溜まりも検出されており、古代乙訓寺の南限を解明する重要な成果と言えます。

▲ 調査地位置図



▲ 調査成果図

付表−２　年度毎の発掘調査面積一覧表